

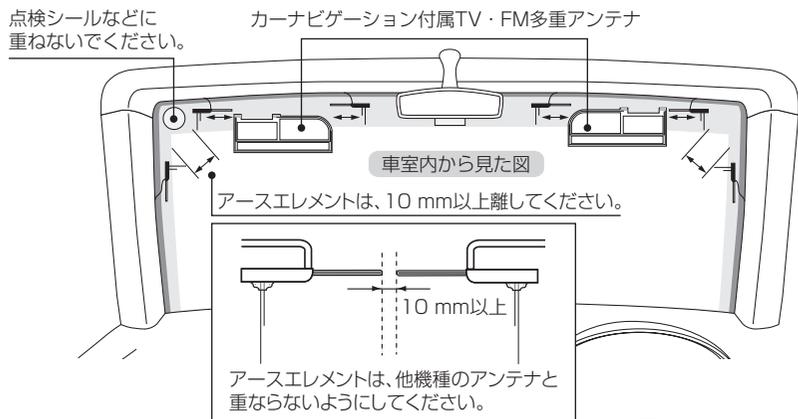
1. はり付け位置の確認

■ はり付ける位置について

- 国土交通省の定める保安基準※に適合させるため、アンブ部は必ず下図のようにはり付けてください。
※ 保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付けの運輸省(当時)告示第820号をいいます。
- 左ハンドル車にはり付ける場合も、下図のとおりにはり付けてください。
- フロントウィンドウに、すでにフィルムタイプのアンテナを取り付けている場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
(指定の位置・寸法内に取り付けられない場合があります。)
- 十分な性能を出すために、上部から縦はりにする場合は、アンブ部はできるだけ上部に、またはピラー側から横はりにする場合は、できるだけピラーよりにはり付けてください。

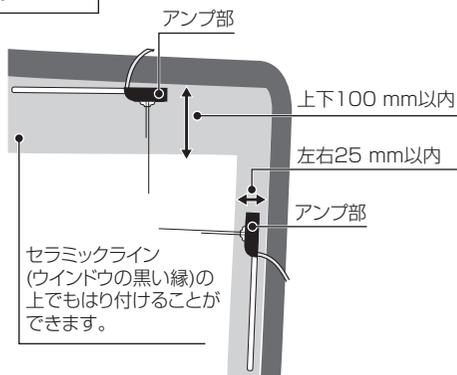
■ 各アンテナ間の距離

- 妨害感度低下を防ぐため、エレメントと他機種のアンテナ間は、最低でも6 cm以上(10 cm以上を推薦)離してはり付けてください。



■ アンブのはり付け許容範囲 (■) について

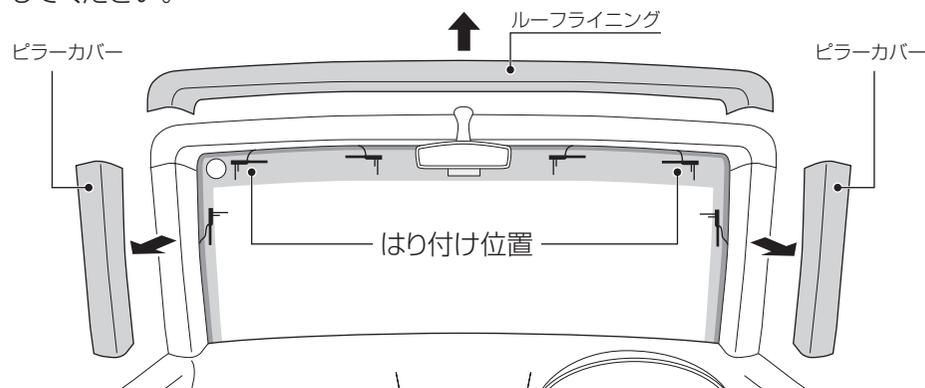
アンブ部は、必ずはり付け許容範囲内にはり付けてください。はり付け許容範囲外にはり付けると、国土交通省の定める保安基準に適合しません。



2. はり付けの準備

フロントガラスへのはり付け位置を決め、はり付け面をクリーナー(付属)できれいにふきとります。(ガラスが乾かないうちはり付けないでください。エレメントがはり付かなくなります。)

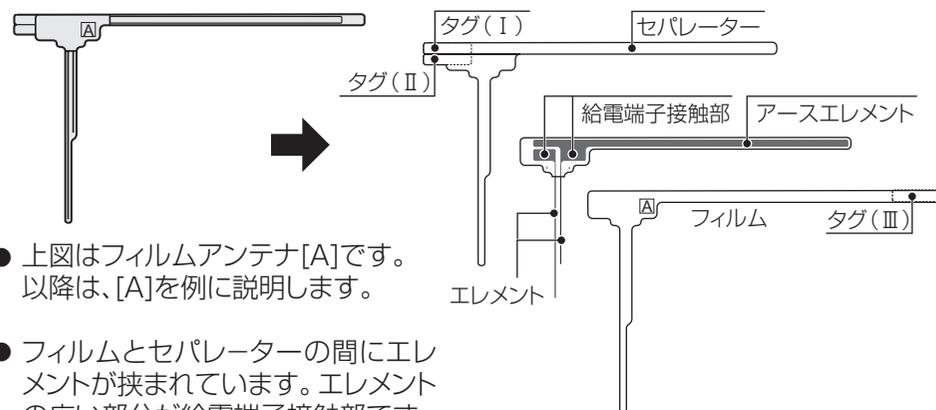
- 縦にはり付ける場合はルーファイニングを取りはずして、はり付け位置を確認してください。



- 実際の配線を想定して、フィルムアンテナやコード類を市販のテープで仮止めてエレメントやアンブなどがはり付けられることを確認してください。エレメントのはり直しはできませんので、必ず行ってください。
- フィルムアンテナはフロントガラス上部に4枚(TU-DTX300シリーズ)または2枚(TU-DTV30)はり付けになります。

■ アンテナの構造

フィルムアンテナは、3層構造(左図参照)になってます。



- 上図はフィルムアンテナ[A]です。以降は、[A]を例に説明します。
- フィルムとセパレーターの間にエレメントが挟まれています。エレメントの広い部分が給電端子接触部です。

お願い フィルムを強く曲げたり、急にはがすとエレメントが断線する恐れがあります。